

参考資料1 各国の洋上風力の目標や政策 (GW)

	導入実績 (GW)	2030	2040	2050	政策及び情報源
英国	13.9	50 (浮体式 5GWを含む)	浮体式 34		英国エネルギー安全保障戦略 (2022 年 4 月) <ul style="list-style-type: none">● 洋上風力の手続きにかかる時間の半減を目指す● 2030 年までに 50GW の「ambition」は 2020 年 10 ポイントプラン で発表した 40GW からの強化 浮体式「2040 年までに 34 GW」は業界団体 RenewableUK の分析による「ポテンシャル」
EU (27)	16.3	約 111	約 232	約 317	EU 各国における拘束力のない合意の合計 (2023 年 1 月) これより先に、 EU 洋上再生可能エネルギー戦略 が発表されている (2020 年 11 月) <ul style="list-style-type: none">● 2030 年までに 60 GW、2050 年までに 300 GW● 必要な投資額は 2050 年までに 8,000 億ユーロ● 欧州委員会が今後、洋上風力に関する法的枠組みを作り明確にサポートしていく予定● 欧州委員会が開発に必要な財源手当の援助を行う● 欧州委員会はサプライチェーンを強化する
北海周辺国 デンマーク オランダ ドイツ ベルギー フランス アイルランド ルクセンブルク ノルウェー 英国		120		300	オステンド宣言 (2023 年 4 月) <ul style="list-style-type: none">● 化石燃料の利用削減に向け、北海で洋上風力発電やグリーン水素の生産推進を目指す、エスビャウ宣言 (デンマーク、オランダ、ドイツ、ベルギーが 2022 年に採択) から参加国を拡大して発表● ハイブリッド、多目的、多国籍の洋上風力案件、ハブを共同開発する● ドイツ、デンマーク、オランダ、英国は 2030 年までに、計 30 GW の再エネ由来の水素生産能力を保有
米国	0.042	30 主に 着床式	15 浮体式 2035 年目標	110 (2030 年・ 30GW 導入 の目標達成 の場合)	浮体式洋上風力の支援戦略、政策： <ul style="list-style-type: none">● Floating Offshore Wind Shot コスト 7 割削減を目指す● インフレ抑制法 (IRA) による 製造生産税額控除
中国	31.4	200 (GWEC)		1,000 (GWEC)	2030 年、2050 年ともに 業界団体の目標 。政府目標でない (GWEC Global Wind Report 2023)
日本	0.136	10	30-45		
台湾	1.4	13.1		40-55	2050 年ネットゼロ戦略の一部 <ul style="list-style-type: none">● 風力発電は、大型の浮体式を集中的に開発
ベトナム	0.874	6		70-91.5	2023 年 5 月「 第 8 次国家電力基本計画 」決定
韓国	0.142	14.3	26.7 2036 年までに		2023 年 1 月「 第 10 次電力需給基本計画 」公表